

熊本県知事 蒲島 郁夫 様

令和2年7月豪雨からの
復興に向けた要望

令和3年4月
球 磨 村

令和2年7月豪雨の発生から9ヶ月が経過し、熊本県におかれましてはこれまでの間、本村の復旧・復興にかかる様々な分野において多大なる御支援をいただき、深く感謝申し上げます。

また、球磨川水系緊急治水対策プロジェクトによって、河床の掘削を始め、河川における復旧工事を重点的に実施いただくなど、安全、安心の確保に向けて迅速な対応を賜り、重ねて厚く御礼申し上げます。

本村では『災害に強く、豊かな地域資源を後世に継承し、住民が安全に安心して住み続けられる山里「球磨村」の復興』を基本理念に掲げた「球磨村復興計画」を本年3月に策定し、「村民の生活再建」、「村を支える産業の再生と新たな雇用の創出」、「災害に強く、安全に安心して暮らせる新たな球磨村の創造」に向けて、村民とともに全力で取組を推進していくことといたしております。

つきましては、村民が復旧・復興を実感できるよう、復興計画に掲げた取組を確実に実施するため、以下の事項について万全の対策を講じていただきますよう要望いたします。

令和3年4月28日

球磨村長 松谷 浩一

1. 被災者の生活再建に向けた安全な宅地の確保

住み慣れた地域に戻り安心して暮らせる環境づくりを進めるためには、『令和2年7月豪雨時の被災水位』程度までの宅地の嵩上げが必要であり、その実施に向けた全面的な支援をお願いしたい。

なお、宅地の嵩上げを実施する際には、国道、県道についても同程度の嵩上げを行っていただきたい。

また、村民が安全に安心して住み続けられることを目指し、高台等における宅地の造成においては、県による代行をお願いしたい。

2. 災害公営住宅の早期の整備

狭隘な地形が多い本村においては災害公営住宅の建設適地が乏しく、浸水想定区域や急傾斜地に隣接する用地を建設候補地とせざるを得ない状況にあることから、建設に必要な安全対策に関する技術的な支援とともに早期の建設に向けた協議等が円滑に行われるよう支援をお願いしたい。

また、球磨村総合運動公園に整備された木造仮設住宅については、村営住宅へ転用がなされるよう特段の配慮をお願いしたい。

3. 被災者に寄りそう住まいの再建

相談窓口の設置や住宅相談会を開催するなど、様々な機会を通じて被災者の住まいの再建につながるアドバイスや情報提供等を行うこととしており、相談支援体制の構築にかかる継続的な支援をお願いしたい。

また、被害の程度や治水対策の進捗により被災者の住まいの再建時期に違いが生じることが予想されることから、仮設住宅の提供期間を柔軟に延長するなど、特段の配慮をお願いしたい。

4. 子育て・教育環境の再生と安心して学べる環境づくり

被災した渡小学校は、一勝地小学校内に設置したコンテナ仮校舎等を使用し学校活動を再開しているが、子供たちへの様々な影響が見受けられることから、教育環境の改善への支援をお願いしたい。

また、少子化の中、球磨村の未来を担う子どもたちが成長過程に応じて適切な教育を受け、安全で安心して学ぶことができる教育環

境の確保が必要であり、小中学校の再編を含めた将来的な教育環境の改善に向けた支援をお願いしたい。

5. 日常生活や移動等生活環境の早期復旧と利便性向上

これまで高校生の通学や観光客の交通手段となっていたJR肥薩線の早期復旧に向けて、引き続きJRへの働きかけをお願いしたい。

6. 保健・福祉・医療の充実

被災した球磨村唯一の高齢者福祉施設は、国・県の御支援により仮施設での事業を再開したが、高齢化が進む本村においては無くてはならない施設であり、村内で確実に本格復旧が実現できるよう、引き続き支援をお願いしたい。

また、球磨村唯一の障害児通所事業所は、人材確保等の課題により休止を余儀なくされたが、通所していた児童は人吉球磨管内の他の事業所での受入が困難な状況が続いており、児童発達支援環境の確保について支援をお願いしたい。

7. 脱炭素かつエネルギー自給率の高いむらづくり

公共施設や民間住宅における省エネルギー化、木質バイオマス・太陽光等の球磨村の資源を活用した再生可能エネルギー事業を推進するため、脱炭素に向けた対策と再生可能エネルギーの導入に向けた技術的な支援をお願いしたい。

8. 球磨川と共生する村の自然を活かした観光むらづくり

豊かな森林資源や森林空間、球磨川の景観を活かした観光・レクリエーションの開発、森林浴等の体験型教育機会の提供等の新たな「森林サービス産業」の創設に向けた支援を引き続きお願いしたい。

9. 農林業・商工業の生業（なりわい）再生

林業の基盤施設であり村民の生活道路でもある林道・森林作業道の早期復旧や、製材所等の早期再開、土砂流出や地すべりによる森

林被害からの復旧のための治山・砂防施設の早期整備をお願いしたい。

また、将来にわたり希望を持てる持続可能な営農を実現するため、農業用施設の復旧に当たっては維持管理を容易にするなどの技術的な改善に向けた支援とともに、農家の負担を軽減するため、国庫補助率の嵩上げや十分な予算の確保について国への働きかけをお願いしたい。

さらに、商工業の再生と振興に向け、被災した商工業者への継続した再建支援をお願いしたい。

10. 災害に強いむらづくり、インフラの早期復旧、土石流対策

不通となっている県道高沢一勝地線の早期の復旧とともに未開通区間である県道人吉水俣線の早期の整備をお願いしたい。なお、林道大瀬線は県道高沢一勝地線の迂回路となっていることから、安全性の確保にかかる全面的な支援をお願いしたい。

また、代行で災害復旧をいただいている村道渡大槻線については、橋梁の流出や山腹の斜面崩落が各集落へのアクセスの支障となっていることから、出水期前の早期の対策をお願いしたい。

さらに、被災した球磨川支流の復旧、川内川の土石流対策を引き続き推進していただくとともに、神瀬橋についてはまちづくりと連携した移設架替をお願いしたい。

11. 復興に向けた人員体制の強化及び財政支援

豪雨災害からの復興業務が円滑に行われるよう人員体制の確保について継続した支援をお願いしたい。

また、より細やかに村民の生活再建を支援するため、復興基金交付金において、村独自の支援事業を可能とする市町村枠の創設をお願いしたい。